ＦＵＪＩ３Ｓプロジェクトエッグ（ＣＦ型）　普及計画書　概要と三側面

SDGs活動名称	公教育と連動したキャリア教育パイロットプログラムの実践
概要	子どもたちが自分と社会の幸せを両立ししなやかに生きるための能力・姿勢を身に着けることを目指し、より実践的なキャリア教育プログラムを「総合的な学習の時間」に提供するため、パイロット校でプログラムを試行し、地域特性を活かした独自のキャリア教育プログラムを開発する。

SDG s との関係

経済側面	働きがいも経済成長も	産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	つくる責任つかう責任
	○	―	○	○
社会側面	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに
	―	―	―	○
	ジェンダー平等を実現しよう	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	住み続けられるまちづくりを	平和と公正を全ての人に
	○	―	○	○
環境側面	安全な水とトイレを世界中に	気候変動に具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさも守ろう
	―	○	○	○

産業、社会、環境の三側面との関係

産業	富士市の子どもが公教育でしごと・コミュニティ・経済など社会の仕組みを体験的に学ぶことで、地域社会・経済を持続可能にする「生きる力」を備えた地域の担い手に育つことが期待できる。
社会	全ての子どもの「体験格差」を解消すべく公教育を通じた公平、平等な体験機会を提供し、無償で質の高い教育の実現する。また本学習を通して自分自身と社会の幸せを両立ししなやかに生きる能力を身に着けることを目標としている。
環境	本学習で市民、消費者、従業者の側面を体験し、あらゆる立場で環境への視点を持つことができるようになり、環境に配慮した人材の育成が期待できる。

ＦＵＪＩ３Ｓプロジェクトエッグ　普及計画書　事業計画

事業計画

SDGs活動 現状	まちの遊民社は富士市の小中学校に本プログラムを提供することを目指し、令和5年度は小中学校に向けた説明会および先生方との意見交換会を、教育委員会の協力を得て11月29日に開催した。 今後、希望する学校教職員とともに勉強会を開催し、先生方の意見を取り入れ、学校および地域特性を重視した体験施設の企画開発を行うとともに、パイロット校を選定する。
プロジェクト 普及計画	移設可能な職業体験用機材の制作およびパートナー企業の開拓を行うとともに、富士市のパイロット校２～３校でプログラムを実施する。プログラムの試行および検証を行い独自プログラムを完成する。 令和7年度よりプログラムの提供を開始する。 なお、クラウドファンディング型を利用し、企業への応援依頼に併せ、キャリア教育実践のための協力も呼びかけていく。
プロジェクト 目標	・パートナー企業を10社開拓する。 ・職業体験用機材を整備する。 ・富士市の小中学校２～３校でパイロットプログラムを実施する。令和7年度からの本格導入に向けて課題の抽出及び改善を行い、プログラムを完成する。
プロジェクト 想定効果	・自身の人生を主体的に進めていける人材、地域社会を支える「生きる力」を備えた人材が育ち、地域社会・経済を回していくことが期待できる。 ・地域や経済格差に関わらず多くの子どもたちに体験的に学ぶ機会を提供することができる。 ・すべてのステークホルダーが子どもの教育を支援するまちになることが期待できる。

ＦＵＪＩ３Ｓプロジェクトエッグ　普及計画書　事業計画

年度	年月	実施事項
令和6年度	2024年4月	パイロット校との調整
令和6年度	2024年5月	パートナー企業の開拓・タスクの準備・調整
令和6年度	2024年6月	体験施設の企画開発・会場選定・設備購入
令和6年度	2024年7月	パイロット校で学内カリキュラム（授業）の実施・検証
令和6年度	2024年8月	パイロット校で学内カリキュラム（授業）の実施・検証
令和6年度	2024年9月	パイロット校で学内カリキュラム（授業）の実施・検証
令和6年度	2024年10月	パイロット校で体験カリキュラム（体験施設）の実施・検証
令和6年度	2024年11月	パイロット校で体験カリキュラム（体験施設）の実施・検証

ＦＵＪＩ３Ｓプロジェクトエッグ　普及計画書　収支予算書

歳入予算

(1) 事業収入、その他収入

説明	金額	令和5年度	令和6年度	令和7年度			第２目標
	0						

歳出予算(補助対象経費)

説明	金額	令和5年度	令和6年度	令和7年度			第２目標
ブース製作（12ブース）・全体設備等	2,000,000	○					
移動経費（貸切バス利用）　3回/校＊3校	300,000	○					
会場設営及び撤収　3校	450,000	○					
倉庫借用　12ヶ月	360,000	○					
活動人件費（４～６月）	300,000	○					
パイロット校との調整　3校							
パートナー企業の開拓及び調整　3企業							
体験施設の企画開発・会場設定							
総務（打合せ・経理等）							
活動人件費（７～９月）	200,000	○					
授業の実施　3回＊3校							
学校＆企業一部との調整及び検証							
総務（打合せ・経理等）							
活動人件費（１０～１２月）	320,000	○					
体験授業の実施　3回/校＊3校							
学校＆企業一部との調整及び検証							
総務（打合せ・経理等）							
活動人件費（１～３月）	250,000	○					
まとめの授業　1回＊3校							
学校＆企業一部との調整及び検証							
プログラムの完成・次年度に向けて							
総務（打合せ・経理等）							
雑費　＊経費の20％以下	800,000	○					
	4,980,000						

歳出予算(補助対象外経費)

説明	金額	令和5年度	令和6年度	令和7年度			第２目標
	0						

収支